

上のヘッダーは第39期（2010-11年）までのプリテンに永らく使われていたものを復刻しました。第52期の広報委員会でクラブ内外の面白ネタを拾ってきて、例会出席者のみに配られるオプションとして、こうした広報誌を随時発行しようと考えています。決して裏プリテンという訳ではありませんが、乞うご期待。

【特集】パレス50周年記念例会は、各クラブのプリテンにどの様に記載されたか？

2022年5月7日 京都パレスワイズメンズクラブ50周年記念例会がホテルオークラ京都にて開催されました。後藤有志会長をはじめ、会員各位の皆様にご心からお祝いを申し上げます。ラオスにYMCAホテル専門学校開設事業に感動をしました。誠にありがとうございます。

理事通信



熱海

京都パレスクラブ50周年 記念例会訪問

メネット 山崎 花子

ブラザークラブ(DBC)の熱海クラブからは、15名が出席しました。5月7日(土)肌寒いと感じる朝、森田ワイズに見送られ熱海駅を出発しました。京都駅に到着すると気温25℃を超えて、初夏を思わせるような暑さでした。新緑が眩しく、美しい樹々と山々、古都らしい街並みを眺めながら、これから始まる例会への期待と緊張を持ってグリーンジャケット群はホテルオークラ京都へ向かいました。



16:00開会点鐘に始まり、式典序盤のこと前方スクリーンに、故 八代一雄ワイズの御名前が映し出され、会場にいる300名の方々が哀悼の意黙祷を捧げてくださいました。特別な例会において、先輩八代ワイズのご冥福をお祈りできた事に、京都パレスクラブの友情とお心遣いに胸が熱くなりました。

式典は進み、入会式があり新会員の高橋さんが300名が見守る中、入会の宣言をされました。さぞかし緊張し驚き、かつ思い出に残る入会となったかとお察しします。とても良い入会式でした。

京都パレスクラブ50年の記録をスライドショーで振り返り、懐かしい写真を楽しく拝見しました。長い歩みと歴史を感じました。その後、今回のメインと言える



「50周年記念事業の発表と贈呈式」が行われました。「ラオス人民民主共和国にYMCAを立ち上げる」というもので、社会主義国にYMCAを導入する事が難儀とされていたものの、観光に携わる人材育成というアプローチで、ホテル専門学校を設立の運びとなりました。事業費として「金吾阡萬圓也」が、東京YMCA国際ホテル専門学校 校長の小畑様に託されました。このビッグプロジェクト&ビッグマネーのインパクトは相当大きく、会場では大きな響めきが起こりました。京都パレスクラブのパワーに感銘を受けました。

来賓御祝辞で、京都市長 門川大作様が「教育は人なり、観光も人なり」と仰った言葉が観光地熱海にも共通すると印象に残りました。この度のプロジェクトが大きな成果を挙げられる事に期待いたします。

最後は、お約束のアピールタイム。泉明寺会長の軽快トークで、「願いのあかりフェスティバル」と「熱海クラブ60周年」について、全員でアピールして参りました。

深く心に残る例会に出席させていただきました。感謝とご報告を申し上げます。

DBC 京都パレス 50 周年記念例会

京都パレスワイズメンズクラブの 50 周年記念例会に参加しました。本来なら昨年の予定だったようです。一般的に周年行事をコロナウイルス感染症のため中止にする主催者が多い中、5 月 7 日にホテルオークラ京都で盛大な式典が開催されました。

ウクライナの首都キーウは京都の姉妹都市で、来賓として和服で参加した京都市長のスピーチもウクライナの話が印象的でした。



また、記念事業として、「ラオスにおける YMCA 国際ホテル学校創設」のプロジェクトの発表もありました。京都パレスの DBC 紹介があり、札幌、東京グリーン、熱海各クラブとの交流が紹介されました。今回、札幌からは 1 人だけの参加でしたが、今後は多くの会員で DBC 活動を深め、両クラブの親睦をより高めていきたいと思ひます。

(副会長 伏木 康 記)

1) DBC 京都パレスクラブ 50 周年記念例会出席報告

<樋口>

日時: 2022年5月7日(土)
会場: ホテルオークラ京都
出席者: 樋口会長/
青木副会長/柿沼監事
京都のみどりが最もうつくしく映える季節、約300名の出席のもと盛大に行われました。

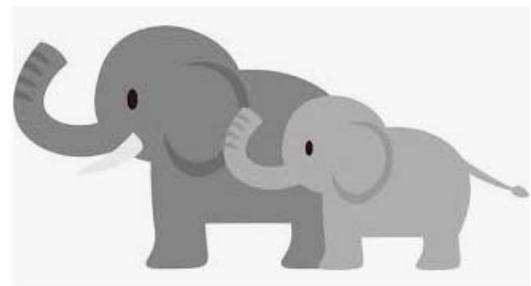


例会運営、記念事業発表(ラオスに国際ホテル専門学校設立を支援)は秀逸

で、こころざしの高さに感服しました。

また、懇親会運営でのチーム一体となったホスピタリティは心温まるものが感じられ、「親睦」があるから長い年月ずっとこういう一体感がはぐくまれるのかもしれないと感心しました。

DBC 熱海クラブの気合の入ったアピールもすばらしく、両 DBC の今後のますますのご盛況を祈念します。



京都パレスクラブ 50 周年記念例会報告

宝塚

2022 年 5 月 7 日、本来は去年開催されるはずだった 50 周年例会をコロナ状況を見ながら今年開催を決定されたと言う事情もあって久しぶりに 300 名がホテルオークラ京都に集まる大きな例会になりました。今迄の活動、YMCA との協働などを見ごたえのある動画、「パレス 50 年の歩み」で紹介され、その後の 50 周年記念事業発表では出席者全員の驚きの声が響きました。

その事業とは社会主義国であるラオスに YMCA を作る目的で 1000 万円をラオス人民民主共和国に寄付すると言うものです。インドシナ半島ではラオスだけ YMCA がなくかねてからその可能性を探っていた結果、まずホテル学校を建てて足がかりにするとの事です。

多くの問題をクリアしながらこの席で発表出来たのはわずか 2 週間前だったと、最大の功労者でありチャーターメンバーでありラオス名誉領事の大野嘉宏ワイズが熱い思いを涙ながらに語られました。

まだまだ問題はありますが私達としても協力出来る事があれば考えて行きたいと思ひます。

京都特有の華やかな例会ではありませんでしたがスケールの大きさに圧倒され感動的な 50 周年記念例会でした。



石田 由美子



京都パレスワイズメンズクラブ50周年記念例会

5月7日(土)

5月7日16時、京都パレスワイズメンズクラブの50周年記念例会が、ホテルオークラ京都にて海外からの参加も含め300余名のゲストとワイズメンで盛大に開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて一年の延期を余儀なくされた第51期後藤有志会長の挨拶では、感謝と歓迎を、そして50周年を節目に次の半世紀に向かって歩き出すと述べられました。

50年の歩みを映像で鑑賞した後、50周年記念事業としてラオスにYMCAを創るとの計画が発表されました。ホテルマ

ンを育成し、ラオスの観光事業に寄与し、将来は日本にも迎え入れたいとのことです。人の出会いとつながりから国を動かすまでの困難な経過についても話され、東京YMCAホテル学校に1000万円を贈呈されたその実行力に敬意を表します。



記憶にある京都市動物園に象を4頭贈られた経過には、知らなかった裏話もあり驚くばかりでした。懇親会での門川京都市長の祝辞にも、象へのお礼が述べられていました。アピールタイムでは京都クラブ75周年記念例会もしっかりアピールして、盛り上がる中20時に閉会になりました。

京都ZERO

パレスクラブ 50周年+1 記念例会

5月7日(土曜日)

佐古田正美

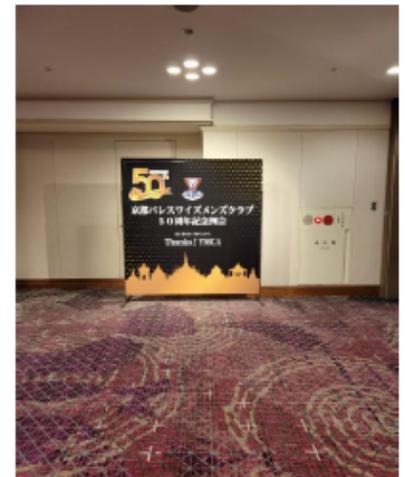
ゴールデンウィーク後半の5月7日、「パレスクラブ 50周年+1 記念例会」に出席してきました。+1というのは昨年開催予定がコロナ禍の影響で延期となり、実質51周年での開催となったことにより、その設立年度は1971年であり、老生もまだ16歳という青春真っ只中。この年、それまでは番組限定だったNHKと民放の各TV番組がようやくオールカラー化されたという信じられない「太古の昔」から現在今なお発展し続けているパレスクラブには畏怖の念すら覚えます。

さて、特にこのような例会には決して遅刻してはならぬと開会の1時間前に会場に到着してみると、すでに受付には黒山の人だかり。部会や西日本大会でしかありえない人数のワイズメンがすでにいた



るところに屯(たむろ)しています。過去、いろんなクラブの例会にも出席させていただきましたが、このような350人規模の「例会」は初めてであります。さすがはパレスクラブ!と驚いていましたが、

本当の驚きは第一部の式典途中から始まった「50周年記念事業の発表」の中身でした。何とパレスクラブが中心となって、共産圏のラオス共和国にYMCAを設立する!というではありませんか!ご存じの方もいらっしゃると思いますが、アジア圏でYMCAが存在しない国はこのラオスと北朝鮮の2国だけであり、日本YMCA同盟にとって長年の悲願でもあったわけです。共産圏ではキリスト教をはじめ異教のみならずボランティア活動自体ですらなかなか受け入れられず、今回のYMCA立ち上げ計画についても、YMCAのC(クリスチャン)を外して「YMホテル学校」設立とし、あくまで将来の観光立国としてのラオスに株式会社という形態で貢献する、という苦渋の選択の上での決定とのことです。これも知らなかったのですが、日本YMCA同盟とホテルビジネスの関係は深く、何と1935年(昭和10年)には当時開催が決定していた1940年の東京オリンピックの外国人受け入れ可能なホテル(当時は東京に1軒しかなかった)のホテルマン要請のための学校設立の依頼がYMCAになされたことに始まります。今現在も東京・高田馬場はこのYMCAホテル学校は存在し続けており、創立時からの卒業生の数は12,000名を超えたそうで、このOB、OGが中心になってラオスの首都ビエンチャンでの開校に備えるとのこと。あまりに壮大な計画に来場者全員があっけにとられている様子がむしろ面白かったです。ともあれ、参加したZEROクラブの面々も、それぞれに大いに刺激を受けたであろう例会ではありました。



京都パレスワイズメンズクラブ 50周年記念例会に出席して

地域奉仕・環境事業委員 大山 孜 郎

2022年5月7日(土)、ホテルオークラ京都にて、京都パレスワイズメンズクラブの50周年記念例会が盛大におこなわれた。

ご存知の様にパレスクラブは我がキャピタルクラブの親クラブです。

キャピタルクラブは、1983年11月27日に、KBSホールにてチャーターナイトを迎えています。この時の設立実行委員長が、大野嘉宏ワイズでした。

第一部の式典では、後藤有志会長が力強く会長挨拶をされました。さすがに、親クラブの会長だととても感激しました。第一部の中で新しいメンバーの入会式も執り行われました。

引き続きパレス50年の歩みが紹介されました、その中で、50周年記念事業の発表がなされました、かねてから聴いていましたラオス人民共和国のことです。ラオスに、YMCAをこれから作る計画、ラオスから象が京都市動物園に送られてきたことなどなどです。

(注) 詳しいことは、後日記念誌が発行されるとのことです、それを参照してください。

そして第二部は懇親会で豪華な食事が出されました。

最近ワイズの周年記念例会に滅多に出席しないのですが、今回は親クラブの50周年ということもあり、久しぶりに参加しました。懐かしい人にもお会いできてとても良かったです。



京都パレスクラブ50周年+1記念例会(ホテルオークラ)
5月7日(土) 交流IBC/DBC委員会副委員長 中野 かおる

5/7(土) 京都パレスクラブ50周年+1記念例会がホテルオークラにて開催されました。

会場には330名ほどの参加、ウエストクラブからは20名で参加いたしました。

席間にパーティーションのないお席でした。久しぶりの感覚でした。

パレスクラブの50年のあゆみのスライドがその時代のヒット曲とともに上映され、我がウエストクラブのエクステンションの写真もありました。また最大の目玉になった記念アクトですが、世界にYMCAのない地域があと3カ所、そのうちのひとつ、ラオスにホテルの専門学校を創るというアクトが発表されました。

ラオスは社会主義国家で、国外からの支援金についてすら税金をかけるなど、国レベルで超えて行かないといけない壁がたくさんあり、またキリスト教をベースにしていることを全面的に出すのも難しいなど、これもまた大変な壁がある場所とのこと。それを熱い思いをもったワイズメンの行動と知恵によって、実現させようと動かれていることに感動いたしました。パレスクラブはこのアクトに1000万円の資金を充てられました。これからが大変だとは思いますが、成功を心から願っています。

ウエストクラブも何か大きいことをしてみたい、という気持ちも同時に沸き起こりました。

今はクラブの内部の充足期間だと考えてはおりますが、力を付けながら大きくなっていけるように、次期は三役としてしっかり頑張りたいと思った例会でした。

例会後は15名で二次会にいき、メンバーの懇親を深めました。やはりリアルで会えることの大切さを感じました。

以上



京都パレスワイズメンズクラブ50周年記念例会報告(5月7日<土>ホテルオークラ京都)

福本 匡宏

過日の5月7日(土)に、ホテルオークラ京都にて、京都グローバルワイズメンズクラブの親クラブである京都パレスワイズメンズクラブの50周年記念例会が盛大に行われま



した。

式典の中で、パレスクラブの50年の歩みを映像で拝見し、我がグローバルクラブを含め、5つのクラブをチャーターしていることを知り、改めて同クラブの歴史の深さを感じさせられました。

また、50周年記念事業として、ラオス人民民主共和国にYMCAを創設するべく、手始めにホテル専門学校をラオスに創ると発表され、東京YMCA国際ホテル専門学校へ現地ホテル専門学校の創業費として1,000万円を寄贈されました。パレスクラブのエネルギーと熱い思いをここでも感じる事が出来ました。

グローバルクラブも来年30周年を迎えます。パレスクラブに負けないうらい熱い思いで盛り上げていきましょう!!

京都トップス

京都パレスクラブ50周年例会

日時: 2022年5月7日
場所: 京都ホテルオークラ

吉田信子Y's

皆さまこんにちは

京都トップスクラブに10月より参加させて頂いております吉田信子です。

私はパレス50周年記念例会に出席させて頂き、参加させているワイズメンズの方々の素晴らしいお人柄・熱い気持ち・高い信念にとっても感動・感激しました。頭では奉仕活動の大切さは理解しているつもりでも実際のところ何も出来ずに暮らしておりました。けれども京都トップスの皆さま他のクラブの方々には本当に自分たちの出来ることを誠実に努力され、そして実現されていることに深く感動し刺激をたくさん頂きました。今、世界はパンデミック・軍事進行・環境問題・経済の不安・格差と人種差別・紛争とさまざまな危機を抱えています。自分さえ良ければ良いという利己主義が世界を混迷させていく現代でいろいろな形で、出来ることをおこない、手を差し伸べることは本当に未来を変えてゆくことのできる大切なことだと思います。パレスの皆さまの努力と信念は本当に素晴らしいと思います。参加させて頂き本当にありがとうございました。



巻頭言

「親睦と奉仕」

先月、京都パレスクラブの設立50周年記念例会に参加してきました。会員数は52名で、日本で最もワイズ運動が活発な京都部の中でも、とりわけ元気なクラブのひとつです。人口約150万人の京都市には17クラブに500名の会員がいます。この率を東京都に当てはめると160クラブ、4,700人の会員となります。何故、京都でワイズ運動が隆盛を誇っているかについては、様々な理由が挙げられると思いますが、ひとつは「親睦が奉仕の源」という考えが部内に行き渡り、皆がワイズライフを楽しみながら活動を行っているということにあると思います。また、ほとんどすべての京都部のクラブが、例会を一流ホテルで開催しているなど、ワイズメンズクラブの社会的なステータスを維持、高め、数々の親睦活動ともに、新入会員を惹きつけていることや、工夫された様々な部の交流プログラム、地域奉仕活動が行われていることも理由として挙げられると思います。京都部では毎年、ワイズデーやW4Wの統一行動日には数百人規模でのイベントが賑やかに開催されていて、会員増強にも役立っています。私たちの部、クラブでも大いに参考としたいと思います。(田中博之)



京都パレスクラブ 50周年記念会参加報告

5月7日(土)、ホテルオークラ京都で開催された、京都パレスクラブの50周年記念例会に参加してきました。京都パレスクラブの皆さんとは、2015年の京都アジア地域大会、2017年の第2回東西交流会そして2019年の仙台アジア太平洋地域大会等で共に働いた中で、日頃親しくさせていただいています。参加者は300名を超え、フランス料理のフルコースが供され、また、BGMに京都フィルハーモニー室内合奏団、芸妓さんのお酌もあり、京都のワイズメンズクラブらしい華やかな会合でした。私にとっては2年半ぶりに東山荘より西への旅で、京都部を始め西日本区の多くの友人たちとの旧交も温めることができました。

特筆すべきは、当日公式発表された、ラオスに新たにYMCAを設立するプロジェクトです。ラオスの名誉領事を務める大野嘉宏さん(元西日本区理事)のリーダーシップのもと、度重なる現地訪問やラオス大使館との交渉を行い、まずは、東京YMCA国際ホテル専門学校と連携して、ラオスにYMCAの名を冠したホテル学校を設立することになりました。記念会ではそのための費用の一部として、クラブからの献金1,000万円が小幡貴裕東京YMCA国際ホテル専門学校校長に手渡されました。会員数50名を超えるクラブとはいえ、そのパワーと成果に感動を覚えました。ラオスのプロジェクトについては、東京YMCAのプロジェクトでもあり、在京の部、クラブでも支援ができればと思います。(田中記)

「ラオスにYMCAを」応援プロジェクトが発足！

パレスクラブ50周年記念例会での発表を受け、それに賛同して頂いたメンバーが新山西日本区理事の掛け声の下に集まり、応援プロジェクトを立ち上げて頂く事になりました。

6/30(木)には、新山理事、中村部長をはじめ、ウエストクラブ、トップスクラブを中心に有志のメンバーが集まり、応援プロジェクト発足に向けた第1回ミーティングが行われました。パレスの動きに歩調を合わせながら「賛同者を1,000人集める」という目標が掲げられ、具体的な活動方針などが話し合われました。パレスから始まったプロジェクトが、多くの賛同者を巻き込みながらどんどん拡大し、みんなの夢、目標になるうとしていきます。



【編集後記】

クラブのホームページは大切だと改めて思います。今回の企画のために東日本区、西日本区のWEBサイトにあるリンクから各クラブのホームページやFacebookなどを見て回りました。紙のプリントはどうしても配布の手間があったり保存が困難だったりしますが、デジタルデータがあるお陰で机の前に居ながらにして、これらの記事を集めることが出来ました。随時更新されている各クラブの皆様へ感謝いたします。尚、無断転載させて頂きましたことは、当クラブ内部だけの資料ですので、どうかワイズの友情にてご容赦下さいますようお願い申し上げます。